

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和5年8月24日	担当部署	環境部 環境政策課
-------	-----------	------	-----------

※以下は令和5年4月1日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	公益財団法人 雪だるま財団		
代表者	理事長 小林 美佐子		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市安塚区安塚 722 番地 3		
設立年月日	平成 23 年 8 月 1 日（財団法人雪だるま財団は、平成 2 年 9 月 1 日設立）		
基本金	151,000 千円	市出捐割合	100.0%
	設立目的		
設立目的	雪国の持つ地域資源を活用し、自然エネルギーの利用を推進するとともに、体験交流活動の促進と地域振興を図ることにより、地球温暖化の防止、人材の育成、青少年の健全な育成、並びに地域社会の発展と雪国生活の向上に寄与すること。		
主な事業	(1) 雪国の暮らし向上に関する支援 (2) 自然エネルギーに関する調査研究及び普及促進 (3) 体験交流活動の実施及び促進 (4) 地域資源の調査及び伝承並びにその活用 (5) 地域資源を活用した体験交流旅行の企画及び実施 (6) 住みよい地域づくりの企画、提案 (7) (1)から(6)に掲げる事業を実践する人材の育成、情報収集及び公開、関連する個人・団体間の交流・連携の促進		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
理事	1	2	3	1	0	2
監事	0	1	1	0	0	1
計	1	3	4	1	0	3

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	1	1	0
その他	0	0	0
計	1	1	0

5 事業実績（概要）

【令和4年度の経営状況】

- ・ 令和4年度の経常収益は、前年度と比較して624千円減の15,941千円となりました。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言解除に伴い、越後田舎体験事業収入がコロナ禍前の水準に戻ってきたものの、雇用調整助成金の給付を必要としなくなったことが主な要因です。
- ・ 経常費用は、職員の退職等により、前年度と比較して1,957千円減の16,222千円となり、この結果、当期一般正味財産増減額は△281千円となりました。
- ・ 財団では、地域を巡る社会経済環境の変化も踏まえて、今後の事業の在り方や法人の方向性に関して検討を行ってきた結果、令和5年3月31日に事業を終了し、同年4月1日をもって解散することとしました。なお、解散に当たっては、財団が進めてきた活動について、今後のまちづくりに継承、活かしていけるよう、市及び関係団体との協議・調整を実施しました。

【令和5年度の経営状況】

- ・ 令和5年4月1日付で解散となったため、令和5年度の事業実績はありません。

【令和4年度的主要な取組】

○ 公益事業の概要

(1) 自然エネルギー推進事業

① 自然エネルギーに関する調査・研究

- ・ 雪冷熱エネルギー活用の新たな施策検討のための調査研究

② 自然エネルギーの普及・推進活動

- ・ 雪室の利活用の推進及び運営支援の実施
- ・ 小中学生を対象とした自然エネルギーの知識を学ぶ教育プログラムを実施
「雪を活かす」取り組み（講話）3校 265人
- ・ 雪室の活用や雪室食品の開発に取り組む事業者及び行政等と連携し、雪の利活用促進と雪国文化の発信、雪室食品のPRを実施
- ・ 機関紙「雪だるま通信」やホームページ等に活動状況を掲載
「雪だるま通信」発行実績……4月、8月、1月、3月

(2) ふるさと交流事業

① 越後田舎体験事業の実施

年 度	団体数	内 訳				人 数 (人)	泊 数 (人)
		小学校	中学校	高校 大学	その他		
令和2年度	15	6	3	4	2	1,004	339
令和3年度	36	12	13	10	1	2,599	1,476
令和4年度	40	15	18	7	0	2,813	3,785

② 雪国の魅力ある地域資源を活用した交流事業の実施

- ・ 行政・地域・各種団体等との連携を図りながら、観光交流人口の拡大を図った。

○ 収益事業の概要

(1) 情報通信事業

- ① 各種団体の情報受発信のための支援
- ② 各種団体のホームページの運営支援
 - ・ 越後田舎体験推進協議会

(2) 事務委託事業

- ① 越後田舎体験推進協議会からの受託事業
 - ・ 越後田舎体験推進協議会の総会・役員会・幹事会等の会議の開催及び運営

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
		自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日	自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日	自 令和5年4月1日 至 令和5年4月1日
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部			
	經常収益	16,565	15,941	0
	基本財産運用益	2,227	1,942	0
	特定資産運用益	0	0	0
	受取会費	626	508	0
	事業収益	7,861	13,314	0
	受取補助金等	0	0	0
	その他經常収益	5,851	177	0
	經常費用	18,179	16,222	0
	事業費	16,391	14,291	0
	管理費	1,788	1,931	0
	当期經常増減額	△1,614	△281	0
	經常外収益	0	0	0
	經常外費用	0	0	0
	当期經常外増減額	0	0	0
	税引前当期一般正味財産増減額	△1,614	△281	0
	法人税等	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△1,614	△281	0
	一般正味財産期首残高	13,406	11,792	11,511
	一般正味財産期末残高	11,792	11,511	11,511
	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	151,000	151,000	151,000
指定正味財産期末残高	151,000	151,000	151,000	
正味財産期末残高	162,792	162,511	162,511	
項 目		令和4年3月31日現在	令和5年3月31日現在	令和5年4月1日現在
貸借対照表	資 産	163,513	164,633	164,633
	負 債	721	2,123	2,123
	正味財産	162,792	162,511	162,511
	指定正味財産	151,000	151,000	151,000
	一般正味財産	11,792	11,511	11,511

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額 (税込)

(単位: 千円)

内訳		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
①	上越市体験型観光営業活動業務	0	442	600	越後田舎体験営業業務推進
②	樽田雪中貯蔵施設 展示用パネル作成業務	440	0	0	
計		440	442	600	

(2) 財政援助額 (税込)

(単位: 千円)

内訳		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
①	補助金 (助成金)	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他 ()	0	0	0	
計		0	0	0	

8 市以外からの補助金・助成金等

(1) 受給額 (税込)

(単位: 千円)

内訳		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
①	持続化給付金	2,000	0	0	
②	雇用調整助成金	4,000	3,901	127	
③					
④					
⑤					
計		6,000	3,901	127	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

なし

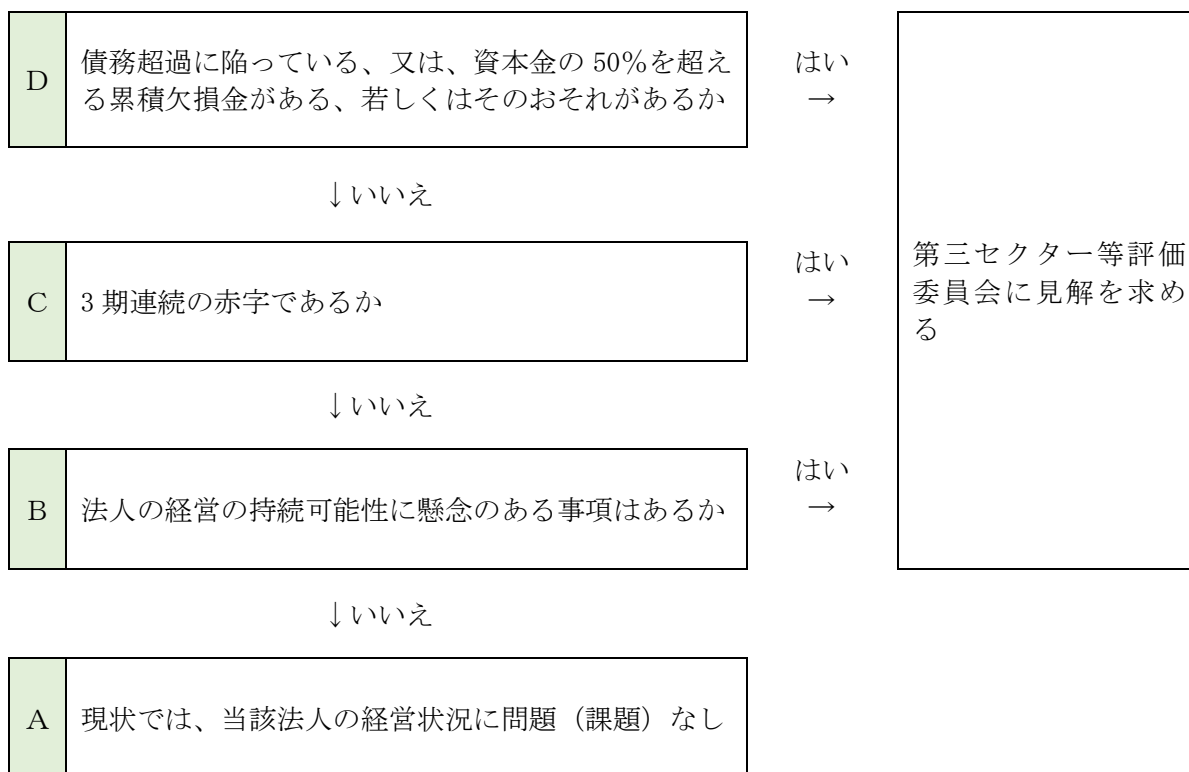
(2) 中長期経営計画

なし

10 令和5年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	C	→ BからD評価の法人は(2)へ
<p>【特記事項】 6期連続で正味財産が減少していることからC評価となるが、法人が令和5年4月1日に解散していることから、分析・評価の対象としないこととした。</p>		

- ・ 非営利法人においては、累積欠損金という概念がないため、初期の正味財産に対する減少分を累積欠損金と読み替える。
- ・ 「3期連続の赤字」の判断においては、「当期一般正味財産増減高」と「当期指定正味財産増減高」の合計がマイナスとなる場合は、赤字と読み替える。